

平成24年度 事業報告書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)



学校法人 順天堂

順天堂大学 4キャンパス6附属病院群



<http://www.juntendo.ac.jp/>



順天堂の「順天」は、中国の古典『易経』にある「順天応人」(天の意志に順い、人々の期待に応える)と、孟子の言葉の「順天者存。逆天者亡」(自然の摂理に順うものは存続して栄え、天の理法に逆らうものは亡びる)に由来します。



A 法人章 B 法人章

「意匠登録」：1996 (平成8)年

A 法人章：佐藤の“サ”又はB 法人章を大学の“大”へデザイン化したとされています。<1957 (昭和32)年制定>

B 法人章：仁義礼智信…の“仁”をデザイン化したとされ、明治初期の順天堂医院診察券や薬袋、佐藤尚中の肖像や医専の校章に使用されています。



順天堂

2013年 順天堂創立175周年記念

開塾：1838年（天保9年）

順天堂の由来

順天堂は、江戸後期の天保9（1838）年、学祖・佐藤泰然が江戸・薬研堀（現在の東日本橋2-6-8）に設立したオランダ医学塾に端を発し、いまに繋がる日本最古の西洋医学塾です。幕末、攘夷・洋学排斥の動きもあり、江戸より下総佐倉（現在の千葉県佐倉市）に移った順天堂には、全国各地より百数十名を超える俊英が参集し、「日新の医学、佐倉の林中より生ず」といまに語り継がれるが如き、西洋医学研究・教育、そして臨床医学実践の場となりました。

順天堂第二代堂主・佐藤尚中は、明治2（1869）年、明治新政府の要請を受け、佐倉順天堂より多数の門下生を率いて上京し、宮内省「大典医」・文部省「大学大博士」を拝命し、大学東校（東京大学医学部の前身）の初代校長として近代医学教育確立に尽力し、西洋医学教育最高学府（東京帝国大学医学部）の礎を固めました。

佐藤尚中の養子・佐藤進は、明治2（1869）年、明治新政府発行の旅券第一号をもってドイツに留学し、明治7（1874）年、アジア人として最初のベルリン大学医学部卒業生・医学博士となりました。ドイツより帰国した佐藤進は、明治8（1875）年、順天堂医院長、そして第三代堂主となり、在任中に西南戦役時の軍医監、次いで陸軍本病院長や日清・日露両戦役の陸軍軍医総監も兼務し国難に対峙しました。そして順天堂医院長を務めつつ、明治18（1885）年、東京大学医学部附属第一医院及び第二医院の院長をも兼任するなど、日本におけるドイツ流医学教育普及のリーダーとなりました。

その後、第四代堂主・佐藤達次郎は、順天堂医学専門学校を開設し、第五代堂主・有山登は、順天堂医科大学・医学部へと発展させ、昭和26（1951）年、体育学部（現在のスポーツ健康科学部）を併設し、更に昭和34（1959）年、大学院医学研究科を開設し、昭和46（1971）年、大学院体育学研究科（修士課程）を開設するなど、順天堂大学へと発展させました。

看護師養成の歴史も古く、117年余を経ております。明治29（1896）年、看護婦講習所を開設し、准看護婦学院、医学部附属高等看護婦学校、高等看護学校、看護専門学校、医療短期大学（3年制）へと続いて参りました。

そして近年、平成12（2000）年、大学院スポーツ健康科学研究科（博士課程）を開設しました。平成16（2004）年には、医療短期大学（3年制）を順天堂大学第3の学部として4年制の医療看護学部（千葉県浦安市）として改組・開設し、平成19（2007）年には医療看護学部大学院医療看護学研究科（修士課程）を開設し、平成22（2010）年、第4の学部として保健看護学部（静岡県三島市）を開設し、そして平成25（2013）年、医学部に海外からの留学生、国内の医学士以外の研究者の為に大学院医学研究科（修士課程）を開設しました。

順天堂は、総病床数3,199床という日本最大規模の大学附属6病院群を配置して強固なネットワークを形成し、先進医療、地域医療、救急医療、周産期医療、高齢者医療、精神医療、がん治療など、国民の医療ニーズに幅広く対応する高い専門性と、総合力に秀でた医育機関として人材育成に努めています。

以上のように、順天堂は4学部3研究科6附属病院からなる「健康総合大学・大学院大学」として教育・研究・医療を通じて社会貢献を進めています。

2013年5月15日（創立記念日）

学校法人 順 天 堂

理事長 小 川 秀 興

1. 法人の設置する学校

【順天堂大学】

研究科・学部名称		所在地	沿革
大学院	医学研究科	修士課程	東京都文京区本郷2丁目1番1号 平成24.11.大学院医学研究科(修士課程)設置認可。 平成25.4.同開設。
		博士課程	東京都文京区本郷2丁目1番1号 昭和34.3.大学院医学研究科(博士課程)設置認可。 昭和34.4.同開設。
	スポーツ健康科学研究科	博士前期課程	千葉県印西市平賀学園台1丁目1番地 昭和46.3.大学院体育学研究科(修士課程)設置認可。 昭和46.4.同開設。 平成9.4.大学院スポーツ健康科学研究科博士前期課程に改称。
		博士後期課程	千葉県印西市平賀学園台1丁目1番地 平成11.12.大学院スポーツ健康科学研究科博士後期課程設置認可。 平成12.4.同開設。
	医療看護学研究科 修士課程		千葉県浦安市高洲2丁目5番1号 平成18.11.大学院医療看護学研究科(修士課程)設置認可。 平成19.4.同開設。
学部	医学部 医学科	東京都文京区本郷2丁目1番1号	天保9年(1838年)西洋医学塾開塾。以降、江戸(薬研堀)から佐倉(千葉)、東京下谷練堀町、本郷湯島の順天堂醫院にて多くの西洋医学者を育成。 昭和18.12.(財)順天堂医学専門学校設立認可。 昭和21.5.(財)順天堂医科大学設置認可。 昭和26.2.(学)順天堂医科大学認可。 昭和26.6.順天堂大学体育学部Ⅱ類(医学進学コース)開設。 昭和27.2.新制順天堂大学医学部設置認可。 昭和27.4.順天堂大学医学部開設。
	スポーツ健康科学部 スポーツ科学科 スポーツマネジメント学科 健康学科	千葉県印西市平賀学園台1丁目1番地	昭和26.6.体育学部Ⅰ類(体育学専攻、健康教育学専攻)開設。 昭和46.1.体育学部(体育学科、健康学科)設置認可。 平成4.12.スポーツ健康科学部設置認可。 平成5.4.体育学部をスポーツ健康科学部へ改組。
			(看護教育沿革) 明治29.10.順天堂醫院看護婦講習所開設。 昭和29.4.順天堂大学医学部附属順天堂准看護婦学院設置。 昭和36.3.同高等看護婦学校開設。 昭和39.4.順天堂高等看護学校へ改組。 昭和51.11.順天堂看護専門学校へ名称変更。
	医療看護学部 看護学科	千葉県浦安市高洲2丁目5番1号	平成元.4.順天堂医療短期大学開設。 平成15.11.医療看護学部設置認可。 平成16.4.順天堂医療短期大学を順天堂大学医療看護学部へ改組。 平成19.6.同短期大学廃止。
	保健看護学部 看護学科	静岡県三島市大宮町3丁目7番33号	平成21.6.保健看護学部設置届出。 平成21.9.学部設置に伴う収容定員関係学則変更認可。 平成21.10.保健師看護師学校指定。 平成22.4.保健看護学部開設。

2. 医学部附属病院

病院名称	開設年月日	病床数	所在地
順天堂医院	明治 6. 2. 2	1,020 床	東京都文京区本郷3丁目1番3号
静岡病院	昭和 42. 4. 1	552 床	静岡県伊豆の国市長岡1129番地
浦安病院	昭和 59. 5. 15	653 床	千葉県浦安市富岡2丁目1番1号
順天堂越谷病院	平成 元. 4. 1	226 床	埼玉県越谷市袋山560番地
順天堂東京江東高齢者医療センター	平成 14. 6. 3	348 床	東京都江東区新砂3丁目3番20号
順天堂練馬病院	平成 17. 7. 1	400 床	東京都練馬区高野台3丁目1番10号
合 計		3,199 床	

※病床数は平成25年3月31日現在の稼働数

3. 大学院附属研究センター及び大学附属研究センター

研究センター名称	センター長・所長	文部科学省私立大学研究設備等整備に係る事業	開設年月日 (初代センター長)	所在地
研究基盤センター	新井 一	—	平成 15. 10. 1 (木南 英紀)	東京都文京区本郷 2丁目1番1号
アトピー疾患研究センター	奥村 康	学術フロンティア 推進事業	平成 10. 11. 19 (小川 秀興)	〃
老人性疾患病態・治療研究センター	内山 安男	ハイテク・リサーチ・ センター整備事業	平成 12. 3. 21 (水野 美邦)	〃
疾患モデル研究センター	新井 一	学術フロンティア 推進事業	平成 10. 11. 19 (小川 秀興)	〃
環境医学研究所	高森 建二	ハイテク・リサーチ・ センター整備事業	平成 14. 9. 19 (小川 秀興)	千葉県浦安市富岡 2丁目1番1号
スポーツロジックセンター	河盛 隆造	ハイテク・リサーチ・ センター整備事業	平成 19. 4. 24 (小川 秀興)	東京都文京区本郷 2丁目1番1号
感染制御科学研究センター	平松 啓一	21世紀COEプログラム	平成 15. 4. 1 (平松 啓一)	〃
スポーツ健康医科学研究所	木南 英紀	ハイテク・リサーチ・ センター整備事業	平成 17. 10. 1 (小川 秀興)	千葉県印西市 平賀学園台1丁目1番地
臨床研究センター	富野康日己	—	平成 20. 11. 1 (小川 秀興)	東京都文京区本郷 2丁目1番1号
国際交流センター	小川 秀興	—	平成 20. 11. 1 (小川 秀興)	〃

4. 法人の設置する大学院・大学の入学定員、学生数等
【順天堂大学】

(単位：名)

研究科・学部・学科名称	修業 年限	入学 定員	入学 者※1	収容 定員	在籍者※2・3								
					1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次			
大学院	医学研究科博士課程※4・5	4年	100	138	380	479	138 (100)	114 (100)	116 (100)	111 (80)	-	-	
	スポーツ健康 科学研究科	博士前期課程	2年	61	53	122	112	52 (61)	60 (61)	-	-	-	-
		博士後期課程	3年	10	9	30	26	9 (10)	7 (10)	10 (10)	-	-	-
	医療看護学研究科修士課程	2年	15	17	30	30	16 (15)	14 (15)	-	-	-	-	
大学院 計			186	217	562	647	215 (186)	195 (186)	126 (110)	111 (80)	-	-	
学部	医学部 医学科 ※6	6年	121	121	650	655	121 (121)	124 (120)	106 (119)	115 (110)	90 (90)	99 (90)	
	スポーツ健康科学部		330	331	1,320	1,317	330 (330)	328 (330)	327 (330)	332 (330)	-	-	
	スポーツ科学科	4年	190	191	760	760	190 (190)	189 (190)	190 (190)	191 (190)	-	-	
	スポーツマネジメント学科	4年	70	70	280	274	70 (70)	69 (70)	66 (70)	69 (70)	-	-	
	健康学科	4年	70	70	280	283	70 (70)	70 (70)	71 (70)	72 (70)	-	-	
	医療看護学部 看護学科	4年	200	200	800	807	201 (200)	198 (200)	196 (200)	212 (200)	-	-	
	保健看護学部 看護学科	4年	120	121	360	365	124 (120)	125 (120)	116 (120)	-	-	-	
学部 計			771	773	3,130	3,144	776 (771)	775 (770)	745 (769)	659 (640)	90 (90)	99 (90)	

※1. 入学者欄は平成24年4月に入学した学生数

※3. 在籍者欄下段は、該当年次入学時の入学定員数

※5. 平成25年度より大学院医学研究科博士課程入学定員を120名に増員認可

※2. 在籍者欄は平成25年3月31日における学生数

※4. 大学院医学研究科修士課程 平成25年度開設

※6. 平成25年度より医学部入学定員を124名に増員認可

5. 役員

区分	氏名	主な役職
理事長	小川 秀 興	
理事	木 南 英 紀	順天堂大学学長
	新 井 一	〃 医学部長、大学院医学研究科長
	野 川 春 夫	〃 スポーツ健康科学部長
	岡 田 隆 夫	〃 医療看護学部長
	高 崎 芳 成	〃 医学部附属順天堂医院長
	三 橋 直 樹	〃 静岡病院長
	吉 田 幸 洋	〃 浦安病院長
	梁 井 皎	〃 順天堂東京江東高齢者医療センター院長
	児 島 邦 明	〃 練馬病院長
	稲 富 恵 子	〃 保健看護学部長
	前 田 稔	〃 医学部附属静岡病院名誉院長
	宮 野 武	〃 練馬病院名誉院長
	高 森 建 二	〃 大学院医学研究科環境医学研究所長
	多 田 宏	非常勤
佐 藤 信 紘	順天堂大学特任教授、名誉教授	
監事	辛 島 睦	非常勤
	濱 本 英 輔	非常勤

6. 評議員

<選任条項順に記載>

児 島 邦 明	吉 田 幸 洋	代 田 浩 之	稲 田 英 一	形 本 静 夫
中 島 宣 行	野 村 志 保 子	青 木 きよ子	細 谷 芳 三	照 沼 則 子
高 森 建 二	富 野 康 日 己	森 近 浩	中 澤 真 逸	林 淑 子
佐 藤 潔	伊 藤 政 男	小 川 秀 興	木 南 英 紀	新 井 一
野 川 春 夫	岡 田 隆 夫	梁 井 皎	多 田 宏	佐 藤 信 紘
稲 富 恵 子	高 崎 芳 成	前 田 稔	宮 野 武	新 井 平 伊
石 館 敬 三	三 橋 直 樹	津 田 裕 士	津 村 秀 憲	奥 村 康
河 盛 隆 造	澤 木 啓 祐			(計 37名)

7. 研究科・学部一覧

	研究科・学部・学科名称	取得学位	研究科長・学部長・学科長
大学院	医学研究科	博士 (医学)	新 井 一
	スポーツ健康科学研究科	修士 (スポーツ健康科学) 博士 (")	形 本 静 夫
	医療看護学研究科	修士 (看護学)	青 木 きよ子
学部	医学部 医学科	学士 (医学)	新 井 一
	スポーツ健康科学部	学士 (学位名は下記のとおり)	野 川 春 夫
	スポーツ科学科	学士 (スポーツ科学)	櫻 庭 景 植
	スポーツマネジメント学科	学士 (スポーツマネジメント学)	小笠原 悦 子
	健康学科	学士 (健康学)	島 内 憲 夫
	医療看護学部 看護学科	学士 (看護学)	岡 田 隆 夫
保健看護学部 看護学科	学士 (看護学)	稲 富 恵 子	

8. 教職員数
(1) 教員数

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

(単位：名)

学長
1

	教授	先任准教授	准教授	講師	助教	助手	常勤計	非常勤	計	
大 学 院	68	15	37	1	51	2	174	118	292	
(内 認)	医学研究科	51	10	35	1	51	2	150	80	230
	スポーツ健康科学研究科	17	5	0	0	0	22	13	35	
	医療看護学研究科	0	0	2	0	0	2	25	27	
学 部	97	113	264	32	383	324	1,213	2,536	3,749	
(内 認)	医 学 部	74	85	242	15	346	320	1,082	2,300	3,382
	スポーツ健康科学部	3	20	6	0	9	4	42	147	189
	医療看護学部	10	5	13	11	19	0	58	52	110
	保健看護学部	10	3	3	6	9	0	31	37	68
合 計	165	128	301	33	434	326	1,387	2,654	4,041	

※上記内、併任教員数

教員数合計(本務・併任合計)

	教授	准教授	講師	助教	計
大学院本務教員 内学部併任教員	65	44	0	43	152
学部本務教員内 大学院併任教員	59	305	4	5	373

	教員数
大学院	665
学 部	3,921

(2) 職員数

事務職	技術職	医療職	教務職	その他	計
467	6	3,808	41	241	4,563

教職員合計
8,605

< 参考：平成 23・24 年度臨床研修医受入数 (括弧内は平成 24 年度数) >

順天堂医院	静岡病院	浦安病院	順天堂練馬病院	計
108	24	57	50	239
(55)	(10)	(25)	(27)	(117)

9. 研究費・補助金

(1) 公的研究費補助金

① 文部科学省・(独) 日本学術振興会：科学研究費補助金

研究種目名	新規・継続	採択件数 (件)	直接経費 (千円)		間接経費 (千円)	
新学術領域研究	新規	1	12	2,600	103,500	31,050
	継続	11		100,900		
基盤研究 (A) (一般)	新規	0	2	0	21,400	6,420
	継続	2		21,400		
基盤研究 (B) (一般)	新規	6	18	35,500	80,900	24,270
	継続	12		45,400		
基盤研究 (B) (海外)	新規	0	2	0	10,700	3,210
	継続	2		10,700		
基盤研究 (C) (一般)	新規	68	163	106,800	199,200	59,760
	継続	95		92,400		
挑戦的萌芽研究	新規	14	25	20,400	33,500	10,050
	継続	11		13,100		
若手研究 (A)	新規	0	2	0	13,900	4,170
	継続	2		13,900		
若手研究 (B)	新規	38	90	54,300	108,900	32,670
	継続	52		54,600		
特別研究員奨励費	新規	0	3	0	2,100	0
	継続	3		2,100		
研究活動スタート支援	新規	3	6	3,300	6,900	2,070
	継続	3		3,600		
合 計	新規	127	320	222,900	581,000	173,670
	継続	193		358,100		

② 文部科学省：大学改革推進等補助金

種 目 名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備 考
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン	1	141,000	
基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成	1	22,950	
医学部・大学病院の教育・研究活性化及び地域・へき地医療支援人材の確保	1	15,656	
合 計	3	179,606	

③ 文部科学省：最先端研究開発戦略的強化費補助金

種 目 名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備 考
頭脳循環を活性化する若手研究者海外派遣プログラム	1	6,717	

④ 文部科学省：戦略的国際科学技術協力推進事業

種 目 名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備 考
日本(JST)－スイス (ETHZ) 研究交流	1	3,675	

⑤ 文部科学省：科学技術人材育成費補助金

種 目 名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備 考
女性研究者研究活動支援事業	1	22,000	

⑥ 日本学術振興会：二国間交流事業共同研究

種 目 名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備 考
アルツハイマー病の画期的予防・治療法の開発	1	1,498	

⑦ 内閣府：先端研究助成基金助成金（最先端・次世代研究開発支援プログラム）

種 目 名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備 考
アレルギー疾患関連分子の発現制御機構とアレルギー治療・予防への応用	1	※156,000	※決定額は平成22年度より4年間合計額
糖尿病性潰瘍に対するハイブリッド型生体外増幅血管内皮前駆細胞による新しい血管再生治療の開発	1	※151,838	

(2) 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

研究期間	研究代表者	プロジェクト名
平成 24 年度～平成 28 年度	感染制御科学研究センター 平松啓一 センター長（教授）	薬剤耐性感染症の予防・治療のための新技術開発に向けた研究基盤推進
平成 23 年度～平成 27 年度	老人性疾患病態・治療研究センター 服部信孝 副センター長（教授）	細胞・脳機能研究の融合による神経疾患診断・治療法開発拠点の形成
平成 23 年度～平成 27 年度	アトピー疾患研究センター 池田志孝 副センター長（教授）	“バリア”に着目したアレルギー疾患の病態解明と治療のための研究拠点の形成
平成 23 年度～平成 27 年度	スポーツ健康医科学研究所 木南英紀 センター長（学長）	子どもの健康づくりのためのスポーツ医科学研究拠点の形成

10. 寄付講座

寄付講座名	寄付者	責任者等
プロバイオティクス研究 (ヤクルト) 講座	(株)ヤクルト本社	特任教授 山城雄一郎
先進糖尿病治療学講座	武田薬品工業(株)	医学研究科 代謝内分泌内科学 教授 綿田 裕孝
漢方医学先端臨床センター	(株)ツムラ	医学研究科 病院管理学 教授 小林 弘幸
加齢制御医学講座	ロート製薬(株) (株)アンチエイジングサイエンス	医学研究科 免疫学 教授事務取扱者 新井 一
イーライリリー 「膝再生医学講座」	日本イーライリリー(株)	医学研究科 代謝内分泌内科学 教授 綿田 裕孝
認知症診断・予防 ・治療学講座	ヤンセンファーマ(株)、エーザイ(株) 他1社 (非公開)	医学研究科 神経学 教授 服部 信孝
小児医療・調査研究講座 (東京都)	東京都	医学研究科 小児思春期発達・病態学 教授 清水 俊明
神経変性疾患病態治療 探索講座	大日本住友製薬(株)	医学研究科 神経学 教授 服部 信孝
分子糖尿病制御医学講座	MSD(株)	医学研究科 代謝内分泌内科学 教授 綿田 裕孝
地域総合診療研究講座 (越谷市)	埼玉県越谷市	医学研究科長 新井 一
免疫病・がん先端治療学講座	キッセイ薬品工業(株)	医学研究科長 新井 一
循環呼吸睡眠医学講座 (睡眠時無呼吸症センター)	フィリップス・レスピロニクス (同) 帝人在宅医療(株) フクダライフテック(株)	医学研究科 循環器内科学 教授 代田 浩之
運動障害疾患病態研究・ 治療講座	ノバルティスファーマ(株) 日本ベーリンガーインゲルハイム(株) グラクソスミスクライン(株) 日本メドトロニック(株) 協和発酵キリン(株) キッセイ薬品工業(株)	医学研究科 神経学 教授 服部 信孝
脳神経血管内治療学講座	ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) 日本ストライカー(株) テルモ(株) (株)カネカ	医学研究科 脳神経外科学 教授 新井 一

※責任者等の職制は、平成 25 年 3 月 31 日の現職を記載

11. 授業料・入学金等学生が納付する金額

大学院・学部		入学金※1	授業料	施設設備費	実験実習費	教育充実費	初年度合計	入学試験検定料
大学院	医学研究科	200,000	400,000	-	150,000	-	750,000	20,000
	スポーツ健康科学研究科	200,000	550,000	-	50,000	-	800,000	30,000
	医療看護学研究科	200,000	550,000	-	50,000	-	800,000	30,000
学部	医学部 ※3	1年次	2,000,000	700,000	200,000	-	2,900,000	※2 参照
		2年次以降	-	2,000,000	860,000	-	720,000	3,580,000
	スポーツ健康科学部	150,000	800,000	390,000	-	200,000	1,540,000	※2 参照
	医療看護学部	300,000	900,000	300,000	350,000 ※4	-	1,850,000	※2 参照
	保健看護学部	300,000	900,000	300,000	350,000	-	1,850,000	※2 参照

※1 入学時のみ

※2 試験形態毎の入学検定料

学部	試験形態	入学検定料
医学部	一般	60,000
	地域枠	
	センター・一般独自併用	
	センター利用	40,000
スポーツ健康科学部	AO	35,000
	推薦	
	一般（独自方式）（1学科）	50,000
	〃（2学科）	65,000
	〃（3学科）	75,000
	センター＋独自同時出願（1学科）	55,000
	〃（2学科）	65,000
	〃（3学科）	75,000
センター利用A方式	20,000	
〃 B、C、D方式	各30,000	

学部	試験形態	入学検定料
医療看護学部	推薦	30,000
	一般	35,000
	センター利用	25,000
	センター・独自併用	55,000
	併願（一般、センター独自併用）	
	〃（一般、センター利用）	60,000
	〃（センター利用、センター独自併用）	80,000
保健看護学部	推薦	30,000
	一般	
	センター利用	25,000
	併願（一般、センター利用）	50,000
	併願（一般、センター利用、センター独自併用Aコース）	65,000
	センター・独自併用Bコース、Cコース	50,000

※3 平成24年度医学部入学者より引き下げを行いました

※4 4年次に助産学に関する実習を受講する場合には、実習費として別途350,000円を加算

12. 学位記授与数

※学位記授与数にて甲は課程修了者、乙は学位論文提出者

大学院医学研究科

（単位：名、％）

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員	80	80	80	80	
〃 入学者数	93	109	110	120	
博士（医学）甲 学位記授与数	83	100	103	108	平成24年度 累計 《1,426》
（上記内、標準修業年限から超過した学位取得者数）	(1)	(2)	(2)	(5)	
博士号の標準修業年限内での学位授与率	98.8	98.0	98.1	95.4	
満期退学後学位取得者数	1	0	1	1	
博士（医学）乙 学位記授与数	19	38	38	63	《2,265》

大学院スポーツ健康科学研究科

(単位：名、%)

区 分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員 (博士)	4	4	4	10	
〃 入学者数 (〃)	3	7	6	10	
博士 (スポーツ健康科学) 甲 学位記授与数 (上記内、標準年限から超過した学位取得者数)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	《20》
博士号の標準修業年限内での学位授与率	-	100.0	100.0	100.0	
満期退学後学位取得者数	1	2	0	1	
博士 (スポーツ健康科学) 乙 学位記授与数	0	1	0	3	《6》
当該年度修了者の入学時入学定員 (修士)	61	61	61	61	
〃 入学者数 (〃)	59	63	66	57	
修士 (スポーツ健康科学) 学位記授与数	43	61	53	55	《770》
修士号の標準修業年限内での学位授与率	90.7	88.5	100.0	96.4	

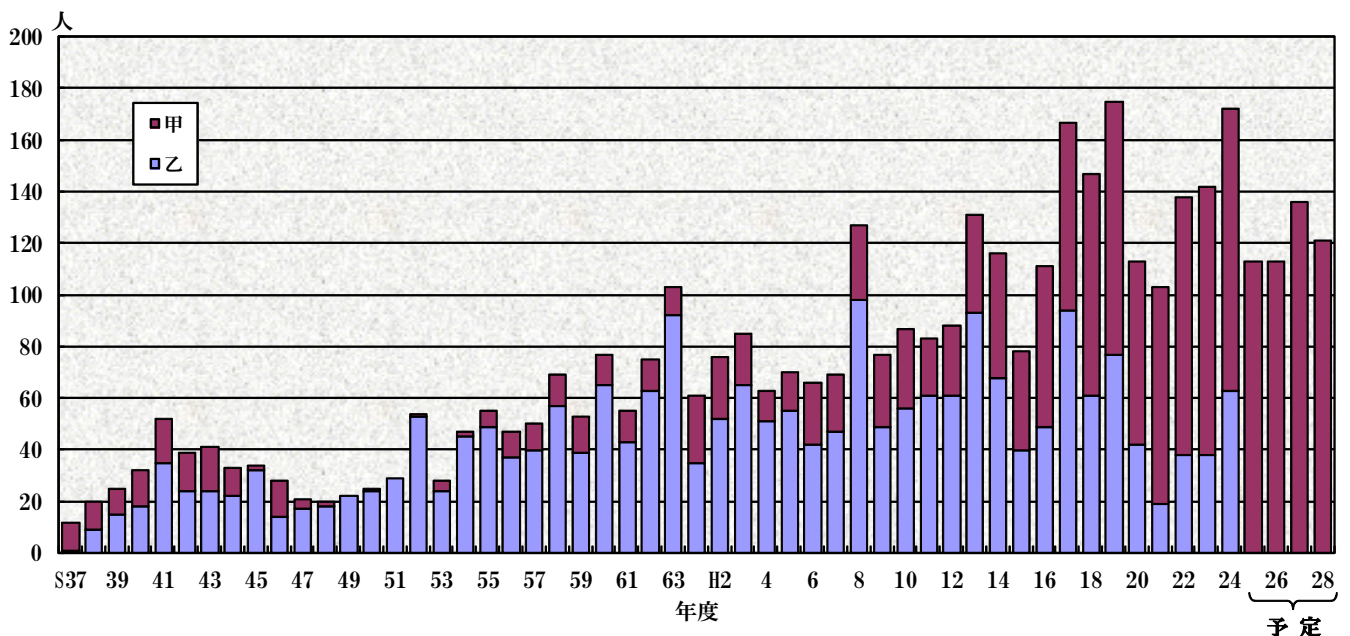
大学院医療看護学研究科

(単位：名、%)

区 分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員	10	10	15	15	
〃 入学者数	16	15	17	14	
修士 (看護学) 学位記授与数	18	15	16	14	《79》
修士号の標準修業年限内での学位授与率	88.9	100.0	100.0	100.0	

順天堂大学博士 (医学) 学位授与者数推移

甲 1,426号 乙 2,265号 (計：3,691号)



◎ 平成21～24年度学位取得者

甲論文 (英文86.6%) 平均IF ≒ 3.100 乙論文 (英文79.7%) 平均IF ≒ 2.890

◎ トムソン・ロイター (2007-2011年) 論文引用度指数

国公立大学の内 第13位

◎ Scopus (2008-2012年) 1論文当たり被引用数

” 第13位

13. 学部卒業生数

(単位：名)

学部・学科名称	取得学位（学士）	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	備考《累計》
医学部医学科	医学	92 (29)	98 (29)	89 (28)	94 (28)	医専卒 《 319》 医科大卒 《 89》 学部卒 《4,448》 累計《4,856》
スポーツ健康科学部		327 (111)	321 (112)	330 (111)	328 (107)	体育学部卒 《5,207》 スポーツ健康科学部卒 《5,320》 累計《10,527》
スポーツ科学科	スポーツ科学	187 (55)	184 (55)	187 (54)	188 (53)	
スポーツマネジメント学科	スポーツマネジメント学	68 (26)	68 (28)	69 (27)	68 (26)	
健康学科	健康学	72 (30)	69 (29)	74 (30)	72 (28)	
医療看護学部 看護学科	看護学	204 (194)	192 (179)	196 (188)	211 (203)	講習所 《1,182》 看護学院 《 29》 准看護婦学院 《 132》 高等看護学校 《 775》 看護専門学校 《1,194》 医療短期大学 《1,476》 医療看護学部 《1,004》 累計 《5,792》

※()内は女子学生数

14. 卒業後の進路状況

大学院・学部		進路	人数	修了者数・卒業生数	
大学院	医学研究科	大学・研究機関	74名	110名	
		医療機関	26名		
		民間企業	2名		
		その他	8名		
	スポーツ健康科学研究科	博士後期課程	教員・研究機関	6名	10名
			就職（民間企業・公務員等）	4名	
		博士前期課程	教員・研究機関	15名	55名
			就職（民間企業・公務員等）	23名	
			進学	12名	
			その他	5名	
医療看護学研究科	大学病院等医療機関	12名	14名		
	教員・研究機関	2名			
学部	医学部	初期臨床研修医（本学医学部附属病院群）	54名	94名	
		〃（他大学医学部附属病院群）	2名		
		〃（大学病院以外の臨床研修指定病院群）	37名		
		初期臨床研修未開始者（国家試験不合格等）	1名		
	スポーツ健康科学部	教員・研究機関	111名	328名	
		就職（民間企業・公務員等）	167名		
		進学	32名		
		その他	18名		
	医療看護学部	本学医学部附属病院群	175名	211名	
		本学以外の医療機関	26名		
		進学	3名		
		その他	7名		

※修了者には単位取得満期退学者を含む

15. 公開講座

左欄：開催年月日	右欄：講座名・テーマ
----------	------------

[法人・大学]

24. 5. 19	第 327 回順天堂医学会学術集会「医学研究の UP-TO-DATE」
6. 23	第 30 回順天堂大学医学部主催・都民公開講座「なぜ、『漢方』は現代医療に用いられているのか？」
9. 13	第 328 回順天堂医学会学術集会「糖尿病治療の新展開」
25. 2. 16	第 31 回順天堂大学医学部主催・都民公開講座「高齢者と膝関節痛」

[大学院医学研究科]

24. 6. 18	平成 24 年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業 順天堂大学キックオフシンポジウム「がん医療維新をめざす ICT 研究教育プラン」
25. 2. 28	平成 24 年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業 順天堂大学国際シンポジウム「先導的国際がん研究の動向」 「アスベスト暴露による中皮腫～環境発がんのリスク予知と予防への新しい展開～」
3. 11	平成 24 年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業 市民公開シンポジウム「対話学・対話カフェの重要性」

[順天堂医院]

24. 5. 26	第 1 回緩和ケア研修会「本郷地区がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」 (～27 日)
6. 16	JMN 臨床研究会 「災害時の心血管イベントについて～東日本大震災の経験を踏まえて～」、 「原発災害と放射線被曝～医療者として知っておくべき放射線の知識～」、 「東日本大震災における足立区医師会の対応と報告～東京武道館避難住民への支援活動～」、「心臓手術における手術リスクの分析と限界への挑戦」
30	第 9 回市民公開講座 「ピロリ菌と胃がん」、「がん治療早期からの緩和ケア～緩和ケアって何?!～」
9. 29	第 2 回緩和ケア研修会「本郷地区がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」 (～30 日)
10. 6	第 1 回医療連携を共に考える会・第 7 回がん研修会（早期診断・緩和ケア） 「動脈硬化退縮を目指した包括リスク管理」、 「「もの忘れ」と「うつ」のプライマリーケア～東京都認知症疾患医療センターの指定を受けて～」、「低侵襲心臓血管外科治療への取り組みと実際」、 「肺癌はどこまで治るのか～早期発見の意義に関連して」
12. 15	第 10 回市民公開講座「がんは遺伝するのか?」、「リンパ浮腫の予防とケア」
25. 1. 31	第 8 回がん研修会（早期診断・緩和ケア） 「在宅でもできる呼吸困難感の緩和」、 「胸部単純撮影の読影のコツ～肺がん早期診断率向上を目指して～」
2. 18	第 2 回医療連携を共に考える会 「地域における産業医の活動～労働生活の質の向上のために～」、 「最新の乳がん治療」、「テーラーメイド治療で進行肺がんはここまで治る」

[静岡病院]

24. 5. 17	市民公開講座「よくわかる大腸がん」
6. 28	第 20 回東部周産期研究会「妊娠糖尿病、糖尿病合併妊娠の管理」、 「マグネシウム中毒による低血圧と考えられた超低出生体重児例」
7. 20	市民公開講座「心臓の手術って知っていますか？」
9. 15	市民公開講座「その腰痛ホントに大丈夫？腰痛～新しい治療と予防～」
10. 25	第 21 回東部周産期研究会「双胎の膜性診断と管理法」、 「脳低温療法の現状と当院における治療例の検討」、 「リニューアルした当院新生児センターの紹介」
11. 22	市民公開講座「膵臓がんのはなし」
25. 1. 29	市民公開講座「知っていますか？子宮頸がんの予防ワクチン」
2. 28	第 22 回東部周産期研究会「当院で経験した常位胎盤早期剥離症例の検討」、 「過去 5 年間に胎盤早期剥離のため分娩となった児の予後の検討」
3. 26	市民公開講座「CKD(慢性腎臓病)ってどんな病気？」

[浦安病院]

24. 4. 25	第 31 回医療連携フォーラム「日常見られる小児外科疾患と当院における外科治療： 新生児外科を中心に」「貧血と造血幹細胞移植」「腎性貧血？」「地域医療と保健所」
28	第 49 回市民公開講座「小児外科とはどんな科？：将来をにやう大切なこども達のために」
5. 19	第 50 回市民公開講座「C 型慢性肝炎の最新の話」
26	第 51 回市民公開講座「乳がん：最新の診断と治療」
6. 2	第 52 回市民公開講座「肺の生活習慣病：COPD の話」
7. 25	第 32 回医療連携フォーラム「咳や喘鳴を伴う疾患」、 「原発性骨粗鬆症に対する骨吸収抑制剤の効果判定についての検討」、 「免疫抑制点眼薬による重症アレルギー性結膜炎疾患の治療」
8. 25	第 53 回市民公開講座「放射線治療について」
10. 27	第 54 回市民公開講座「心臓の動脈硬化をリフォームする」
11. 17	第 55 回市民公開講座「冠動脈インターベンション療法」、 「心不全の診断・治療の進歩」
21	第 33 回医療連携フォーラム「C 型慢性肝炎の最新の話」、 「緩和ケアとがんサバイバーについて」
12. 1	第 56 回市民公開講座「膠原病とは～難病から治療可能な疾患へ」
5	第 57 回市民公開講座「膝の痛み～日常の予防と対策」
25. 2. 16	第 58 回市民公開講座「めまいの診断と治療」
20	第 34 回医療連携フォーラム「大きく変わった糖尿病治療」、 「浦安病院検査科 29 年と私の研究」、「私と人工股関節」、 「Reflections on a 40-year practice of Neurosurgery」
3. 2	第 59 回市民公開講座「加齢と眼の病気」

[順天堂越谷病院]

24. 4. 21	第 48 回順天堂越谷病院・(財) 順天堂精神医学研究所共催講演会 「生活習慣病の克服」
7. 21	第 49 回順天堂越谷病院・(財) 順天堂精神医学研究所共催講演会 「子どものひきつけとてんかん」
9. 21	第 8 回神経内科主催パーキンソン病教室 「在宅でできるパーキンソン病のリハビリ」
11. 17	第 50 回順天堂越谷病院・(財) 順天堂精神医学研究所共催講演会 「心の傷について知る」

[順天堂東京江東高齢者医療センター]

24. 4. 21	第 1 回区民健康講座「もしも、あなたが医師から薬を処方されたら」
5. 19	第 2 回区民健康講座「慢性痛をペインクリニックと漢方で克服しよう」
6. 23	第 3 回区民健康講座「鼠径ヘルニアのお話」
7. 28	第 4 回区民健康講座「糖尿病を正しく理解しよう」
9. 15	第 5 回区民健康講座「認知症にならないためには、そしてなったら」
10. 27	第 6 回区民健康講座「こわい頭痛とこわくない頭痛」
11. 24	第 7 回区民健康講座「よく分かる緑内障のお話し ～もっと緑内障を知るために～」
12. 15	第 8 回区民健康講座「変わりゆくパーキンソン病治療 ～より良い生活を送るために～」

[順天堂練馬病院]

24. 4. 28	区民健康医学講座「かゆみを起こす病気」
5. 17	医療連携フォーラム「乳がんの診断と治療 2012～ガイドラインのみかた、使い方～」
6. 23	区民健康医学講座「がん化学療法による副作用との付き合い方」
7. 19	医療連携フォーラム「ヘモグロビン A1c 国際標準化と糖尿病治療の展開」、 「せん妄とその対策」
9. 20	医療連携フォーラム「新しい心肺蘇生ガイドライン～心肺蘇生処置のポイント～」、 「脳腫瘍の治療・・・今」
10. 20	区民健康医学講座「心房細動における脳梗塞の予防」 ※練馬区との共催開催
11. 15	医療連携フォーラム「ステロイド・免疫調節薬の使用上の注意」、 「最新の大腸がん化学療法」
17	区民健康医学講座「認知症から脳を守る」 ※練馬区との共催開催
12. 15	区民健康医学講座「糖尿病患者さんの足と命を救う最先端治療フットケア～再生医療について」 ※練馬区との共催開催
25. 1. 17	医療連携フォーラム「呼吸器外科領域の最近の話題」、 「肝硬変・肝がんの内科的治療」
2. 23	区民健康医学講座「今日からできる食事療法のコツ」
3. 21	医療連携フォーラム 「心房細動における新規抗凝固薬の使い方」、 「耳鼻咽喉科領域の最近の話題（好酸球性副鼻腔炎を中心に）」

[さくらキャンパス]

24. 5. 30	順天堂大学公開講座兼（財）日本体育施設協会認定 体育施設運営士養成講習会・資格認定試験（～6月1日）
10. 21	生涯学習公開講座「コーディネーション運動教室」
28	生涯学習公開講座「陸上教室」
11. 10	国際シンポジウム 2012「スポーツにおけるグローバル人材の育成」
18	生涯学習公開講座「体操教室」
25	生涯学習公開講座「サッカー教室」
25. 3. 26	浦安市公開講座「なわとび教室」

[浦安キャンパス]

24. 11. 17	第 21 回順天堂大学医療看護学部公開講座 「今こそ災害対策を—みんなで創る災害に強い街—」
------------	---

[三島キャンパス]

25. 3. 17	第 3 回順天堂大学保健看護学部公開講座 「高めよう！女性の健康力、目指そう！健康的な自分づくり」
-----------	--

[国際交流センター]

24. 11. 6	第 3 回アジア太平洋メディカルフォーラム「医学・医療の国際化に向けて」
-----------	--------------------------------------

[男女共同参画推進室]

24. 12. 22	第 2 回順天堂大学女性研究者研究活動支援事業シンポジウム 「女性外科系医師・研究者からのメッセージ」～次世代女性研究医への期待～
------------	--

16. 社会貢献・地域交流・ボランティア活動

左欄：開催年月日	右欄：活動名
----------	--------

[順天堂医院]

24.	4. 14	癒しの会「フラダンス」1号館アトリウム
	5. 12	癒しの会「ボサノヴァ」1号館アトリウム
	6. 9	癒しの会「フラダンス、ピアノ演奏、歌唱」1号館アトリウム
	7. 14	癒しの会「ハンドベル」1号館アトリウム
	8. 11	癒しの会「男声合唱」1号館アトリウム
	9. 8	癒しの会「順天堂大学交響楽団」1号館アトリウム
	10. 13	癒しの会「チャイルドパーティー」1号館アトリウム
	11. 10	癒しの会「順天堂大学交響楽団」1号館アトリウム

[順天堂練馬病院]

24.	5. 21	中学生職場体験（愛知県豊川市立南部中学校 4名参加）
	7. 3	中学生職場体験（練馬区南ヶ丘中学校 1名参加、大泉北中学校 2名参加）（～4日）
	24	東京都ナースプラザ主催 1日看護体験（中学生 3名、高校生 2名参加）（～27日）
	8. 11	C-cube プロジェクト（練馬区南田中小学校・石神井東小学校 24名参加）

[さくらキャンパス]

24.	4. 16	順天堂大学陸上競技記録会（中学生～一般、4月から3月まで全9回開催）
	17	順天堂大学体操教室 （4月から3月までの毎週日曜日開催、（但し夏期休暇期間、年末年始を除く））
	14	順天堂大学バレーボール教室 （4月から1月までの毎週火曜日開催、（但し夏期休暇期間、年末年始を除く））
	6. 1	第65回啓心寮寮祭（～3日）
	15	東日本大震災被災地ボランティア活動（岩手県大槌町等）（～17日、7月6日～8日）

[浦安キャンパス]

24. 6. 8	自転車無盗難推進キャンペーン 浦安市学生防犯委員会V5に参加
10. 16	浦安市立高洲北小学校2年生の「高洲の町探検」課外授業で医療看護学部見学
20	第23回順華祭「笑顔～愛は繋がる。笑顔は∞～」(～21日)
23	NPOキラキラ応援隊講演会(湯浅美千代先任准教授講演) 「急増する認知症高齢者の現状と在宅介護についてーより良き在宅介護を目指してー」
24	浦安市立高洲北小学校特別支援学級生徒の医療看護学部訪問
31	高洲北小学校地区児童育成クラブ(学童保育)との交流活動 (ハロウィン仮装をした子供たちによるキャンパス訪問)
11. 3	自転車盗難防止キャンペーン 浦安市学生防犯委員会V5に参加
12. 23	江戸川区総合文化センターでのクリスマス会に東京進行性筋委縮症協会ボランティアサークルが参加
25. 1. 15	美浜北幼稚園でのテディベアクリニック活動 「医療機関に対する恐怖心を和らげる保健教育(手洗い、うがい)」
2. 9	浦安市第6回セーフティコンサート(浦安文化会館大ホール)JAZZ部参加
24	第7回浦安ベイサイトフォーラム(櫻井しのぶ教授講演) 「いきいき健康ライフ～すぐに役立つ医療のポイント」

[三島キャンパス]

24. 7. 16	平成24年度第1回大場川クリーン活動(リバーフレンドシップ制度に基づく学生ボランティア活動、24年度は4回実施)
8. 25	フェスタ菰池(学生有志による出店)
10. 27	第3回順咲祭「輪～一輪の花を花束に～」(～28日)
11. 11	三島市大宮町3丁目子供会(子供は地域の宝事業における学生ボランティア活動)
12. 1	キャンドルナイト三島(温暖化防止イベントでの学生有志及び吹奏楽部の活動)

[国際交流センター]

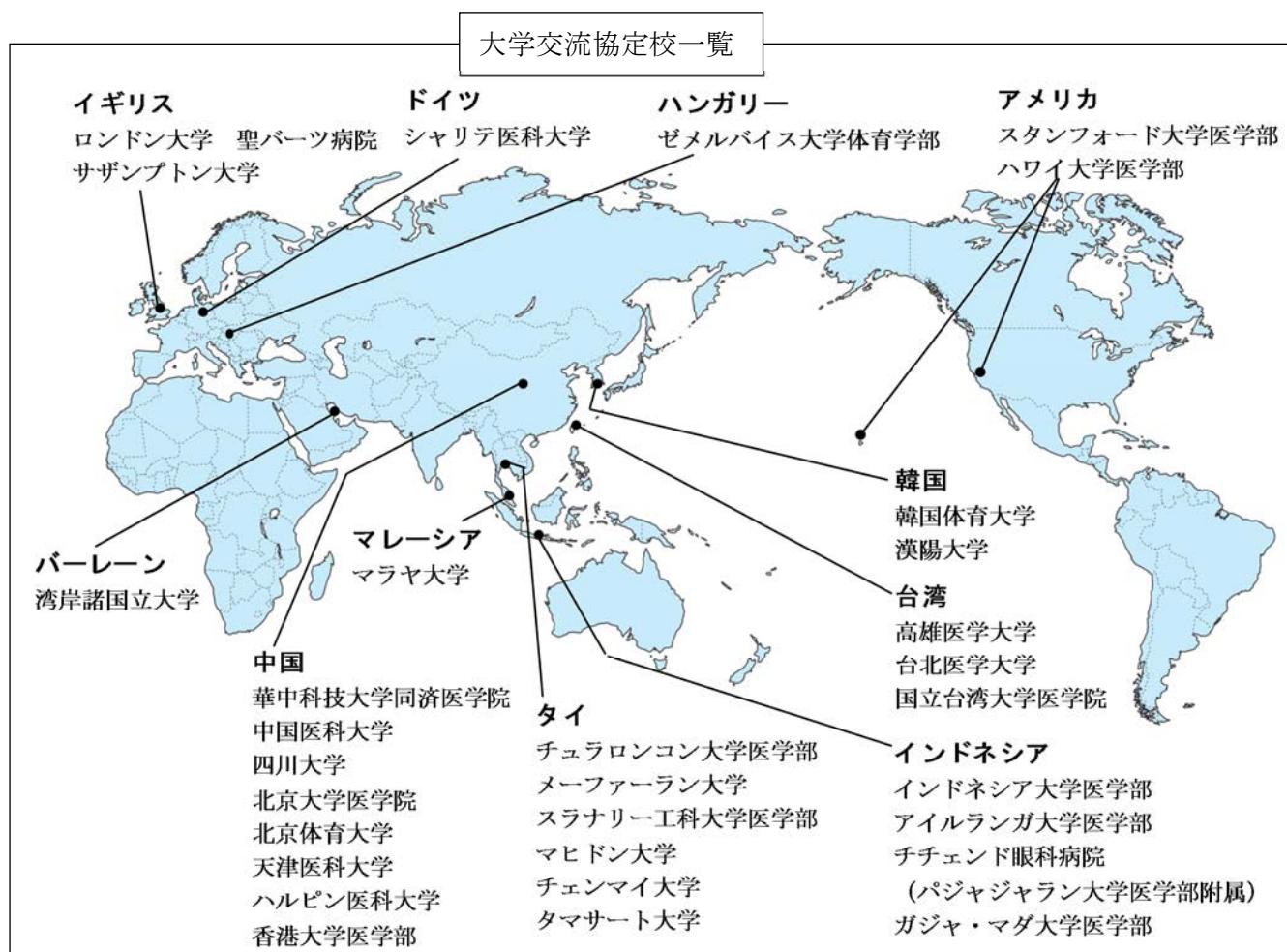
24. 8. 15	HIV/AIDS 予防・啓蒙活動への参加(熱帯医学研究会・タイ・パッタヤー)
-----------	--

17. 国際交流活動

平成 24 年度は教育・研究を通じた様々な国際的な取り組みが行われました。

【 大学交流協定について 】

今年度は新たにタマサート大学（タイ・医療看護学部）及び湾岸諸国立大学（バーレーン・医学部）と大学交流協定を結び、交流協定締結校は世界 11 カ国、合計 31 校となりました。



【 留学生の研修・交流活動について 】

留学生の受け入れは、32ヶ国・地域、214名でした。留学生同士の交流も積極的に行っております。今年度は、平成 24 年 9 月 13 日、順天堂大学センチュリータワーにおいて、東京医科歯科大学の留学生・教職員をご招待して留学生交流会を開催しました。当日は留学生だけでなく両大学の医学部生も参加し、普段あまり接することのない留学生との交流を楽しみました。小川秀興理事長・東京医科歯科大学大山喬史学長による開会のご挨拶の後、順天堂交響楽団による生演奏を楽しみながらの食事・歓談となりました。途中、留学生による日本語 30 秒スピーチ、日本人学生による英語 30 秒スピーチが行われ、様々なトピックでの発表に会場は大いに盛り上がりました。

(海外留学生等国別受入れ状況)

中国	66名	シンガポール	4名	パキスタン	2名	ブラジル	1名	
台湾	38名	イギリス	4名	イラン	2名	トルコ	1名	
タイ	20名	フランス	4名	サウジアラビア	1名	スペイン	1名	
インドネシア	20名	オーストラリア	3名	エストニア	1名	グルジア	1名	
韓国	15名	ベトナム	2名	パラグアイ	1名	バングラデシュ	1名	
マレーシア	5名	インド	2名	グアテマラ	1名	モンゴル	1名	
アメリカ	4名	メキシコ	2名	スイス	1名	ドイツ	1名	
イラク	4名	イタリア	2名	エジプト	1名	セネガル	1名	
							合計 32 カ国	214 名(※)

※博士研究員、リサーチアシスタント、協力研究員、研究支援者を含む

【 学術交流について 】

○ タイ・マヒドン大学との Joint Conference of Oncology

平成 24 年 7 月 14 日～16 日、タイのマヒドン大学において順天堂大学・国立がん研究センター・マヒドン大学共催の Joint Conference of Oncology が開催され、本学より新井一医学部長、福永正氣教授、樋野興夫教授、小松則夫教授、齊藤光江教授が参加しました。



国立がん研究センター・マヒドン大学との
Joint Conference of Oncology

○ 北京大学との第 3 回国際学術シンポジウム

平成 24 年 9 月 6 日、中国の北京大学において消化管がんをテーマとして、第 3 回国際学術シンポジウム

「2012 International Joint Symposium of Clinical and Translational Studies of Gastrointestinal Malignancies」が北京大学・順天堂大学・Cardiff University (イギリス) の共催にて開催され、本学より新井一医学部長、梶山美明教授、福永正氣教授、石崎陽一先任准教授の 4 名が参加されました。



北京大学との第 3 回国際学術シンポジウム

○ 第 3 回アジア太平洋メディカルフォーラム

平成 24 年 11 月 6 日、第 3 回アジア太平洋メディカルフォーラムが開催されました。まず「呼吸器癌の診断と治療」というテーマで呼吸器内科高橋和久教授、呼吸器外科鈴木健司教授による学術講演が行われました。続いて「医学・医療の国際化に向けて」というテーマで、新井一医学部長、任博客員教授、東淳一教授、清水俊明教授、稲田英一教授、馬場忠哲非常勤講師によるパネルディスカッションが開催されました。



第 3 回アジア太平洋メディカル
フォーラム

○ アジア・太平洋諸国における皮膚科・性病科専門医育成コースと日本の国際協力

小川秀興理事長は、1976年からタイ国バンコクの国立皮膚病研究所（IOD）で、日・タイ両国政府プロジェクト“アジア太平洋地域諸国における皮膚科・アレルギー科・皮膚外科・性行為感染症・ハンセン病等の専門医を育成する Certification（1～3カ月教育・実習コース）、次いで Diploma コース（10カ月コース）の日本側代表（チーフ・オーガナイザー）として、タイ側との協議：コース概要作成、カリキュラムや教授陣の依頼・配置などのオーガナイザーを36年に亘り務めています。毎年コース開始時、入学式と授業を約1週間、コース終了前の講義・実習、そして最終口答試験による卒業判定を行い、卒業（修了）式に出席し、Diploma 授与章に署名されています。

1976～2012年迄の修了者は884名、31カ国に及んでいます。タイ王国からはその功績を讃え、「白象勲章」次いで「勲二等王冠勲章（騎士団の司令官）」の称号が授与されています。

アジア・太平洋諸国における 皮膚科・性病科専門医育成コースと日本の国際協力 (1ヶ月コース、3ヶ月コース、10ヶ月コース、11ヶ月コース)		
A. コース（年度）別皮膚科医育成数		
① 1ヶ月コース	1976	5名
タイ国政府主催 (日本は各年度1名(※1) JICA 派遣教授)		
② 3ヶ月コース	1978～1983	112名
*1 <u>Dr.Ogawa was the only one Japanese expert from 1978 to 1983</u>		
③ 10ヶ月コース	1984～2008	648名
日・タイ政府共同事業（日・タイ各1名の総括責任者(※2)と日本は各年度9名の派遣教授		
④ 11ヶ月コース	2009～2012	119名
*2 Organizer in Chief		
Dr. Renoo (Thai side) : 1976 - 1987		
Dr. Preya (Thai side) : 1987 - 2002		
Dr. Pimonpun (Thai side) : 2002 - 2005		
Dr. Jirof (Thai side) : 2005 - 2012		
合計		884名

アジア・太平洋諸国における 皮膚科・性病科専門医育成コースと日本の国際協力 (1ヶ月コース、3ヶ月コース、10ヶ月コース、11ヶ月コース)			
B. 皮膚科専門医育成数の国別分布 (1976～2012年累計)			
1. アフガニスタン	12	17. ミャンマー	24
2. オーストラリア	2	18. ネパール	34
3. バングラデシュ	61	19. オランダ	1
4. ブータン	9	20. パキスタン	90
5. カンボジア	24	21. パプア・ニュー・ギニア	3
6. 中国	57	22. フィリピン	87
7. フィジー	7	23. サウジアラビア	1
8. インド	12	24. シンガポール	1
9. インドネシア	30	25. 南アフリカ	1
10. イラク	1	26. スリランカ	26
11. ヨルダン	1	27. タイ	318
12. 韓国	7	28. 東ティモール	2
13. ラオス	16	29. トンガ	1
14. マレーシア	23	30. アラブ首長国連邦	2
15. モルジブ	6	31. ベトナム	24
16. モンゴル	1		
合計			884

○ 英タイムズ・ハイヤー・エデュケーション・アジア大学ランキング（2013）TOP100

英高等教育情報誌タイムズ・ハイヤー・エデュケーション（英:The Times Higher Education）が発表したアジア大学ランキング2013において、本学は第60位となりました。このランキングは、トムソン・ロイターにより評価され、世界大学ランキングと同じ評価方法に基づき「教育」「国際性」「産学連携収入」「研究」「論文引用」の5項目をそれぞれ評価し、その総合点により算出されたポイントによりランキングされます。日本の大学は東京大学など22校がランクインされ、本学は22校の中では14番目となっており、その中で私立大学は慶應義塾大学（53位）、早稲田大学（57位）、順天堂大学（60位）の3大学のみがランキングされます。

今後は、国際的にも評価される医学部をコアとする健康総合大学院大学として「国際化」と「教育力」「研究力」「臨床力」などを更に強化・充実すると共に、諸外国から本学で学ぶことを望む学生・研究医・大学院生・研究者増加に向けて、日本人には「TOEFL」「IELTS」をコアとする「英語」を徹底的に強化し、海外からの留学生に対しては「日本語と日本文化・教養」などの教育を更に重視していきます。

英タイムズ・ハイヤー・エデュケーション
「アジア大学ランキング：TOP100」

順位	区分	大学名
1	国	東京大学
2	国	シンガポール国立大学
3	公	香港大学
4	国	北京大学
5	私	浦項工科大学校
6	国	清華大学
7	国	京都大学
8	国	ソウル大学
9	公	香港科技大学
10	国	KAIST

※10位以下は日本の大学のみ表示

13	国	東京工業大学
15	国	東北大学
17	国	大阪大学
26	国	名古屋大学
36	公	首都大学東京
39	国	東京医科歯科大学
42	国	筑波大学
44	国	北海道大学
48	国	九州大学
53	私	慶應義塾大学
57	私	早稲田大学
60	私	順天堂大学
67	国	広島大学
69	公	大崎市立大学
73	国	神戸大学
75	国	千葉大学
81	国	東京農工大学
85	国	岡山大学
96	国	金沢大学
96	国	横浜国立大学

18. 当期事業の主な概要及び施設設備の整備状況

【法人・大学】

創立 175 周年記念事業

- ・順天堂創立 175 周年を機に順天堂の更なる前進と発展を期した「順天堂更なる発展、100 年の計」を設定し、全学部のキャンパス及び附属病院群の施設・設備の再整備と拡充を図る「再編事業プロジェクト」を推進しています。事業計画を着実に推進し、強固な財務基盤を維持するため寄付金及び学校債の募集を平成 24 年度より開始しています。

学校法人順天堂「AA」の格付けを維持

平成 24 年 12 月、我が国最大の格付機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）による格付け更新に係る調査が行われ、本法人は「AA（ダブルAフラット）」の格付けを維持しました。本法人の教育・研究・臨床における強い競争力が評価され、今後の方向性も「安定的」とされました。本法人は、平成 19 年 8 月に初めて格付けを取得してから継続して「AA」を維持しています。

日本国の格付けが格下げになる等、「AAA」を有する国内の機関・企業等がなくなり、順天堂は極めて高い格付けとなっています。

（平成 24 年（2012 年）12 月 12 日付株式会社格付投資情報センターニュースリリース）



NEWS RELEASE

【格付維持】

2012年12月12日

順天堂

発行体格付： AA [格付の方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

日本で最古の西洋医学塾を発祥とする学校法人で、医学部をはじめとした4学部のほか、6つの病院を運営している。病院は立地に恵まれているうえ、患者本位の医療重視の姿勢に支えられて競争力がある。年間1000億円を超える医療収入は、国公立・私立を問わず大学としては最大である。

順天堂は帰属収入のおよそ8割を医業収入が占めているが、このような学校法人の信用力を評価するに当たって、R&Iでは医療機関としての評価に重点を置く。医療機関の中で大学病院は、法人内に人材輩出源としての医学部を持っており、一般的な病院と比べて優れた位置付けにある。

順天堂大学全体の2012年度入試の入学志願者数は1万人弱と過去最高だった前年度並みの水準となった。医学部は初年度学費を減額し、6年間の学費総額でみても私立の医科大学で最も安い学費をさらに安く設定した。医学部の志願者は順調で2年続けて4000人を超えている。最近では国立がん研究センターや理化学研究所、日立製作所と協定を締結し、教育や研究で連携を深めている。スポーツ健康科学部は2013年度からの学費引き下げを決定しており、入試広報を積極的に展開している。

1990年代前半に悪化した財務構成は、小川秀興理事長が1999年度から主導した全学的な業務改善組織である学長室プロジェクトの活動によって改善した。2011年度の帰属収支差額は184億円、帰属収支差額比率は13%を超え、3年連続して過去最高を更新した。2013年に迎える創立175周年に向けて、順天堂医院の再編事業を進めている。手元資金で賄う方針を打ち出しており、再び財務構成が悪化する懸念は小さい。格付の方向性は安定的。

【格付対象】

発行者：順天堂

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	AA (維持)	安定的

本郷エコキャンパス・エコホスピタル再編事業

- ・創立 175 周年記念事業の一環として取り組みを行っている新病棟の建設（仮称：B 棟）については、平成 25 年 12 月竣工に向け、順調に工事が進捗しています。
- ・4 号館廻りのサテライト施設の建て替え（仮称：D 棟）、上空通路の新設（1 号館-B 棟間）、新湯島寮の建設等については、計画を取り纏め、工事着手に向け準備を進めています。
- ・1 号館改修計画、3 号館の建て替え計画（仮称：C 棟）、新規取得したサテライト施設の活用検討、7 号館・8 号館・9 号館の跡地に建設予定の新教育・研究棟（仮称）の基本構想の取り纏め等作業を進めています。
- ・藤和・波多野ビル、軽井沢セミナーハウス等、複数の新規不動産を取得しました。

大学間の研究連携・交流

平成 20 年度より早稲田大学と「医療と建築との融合を目指す『次世代環境医療』」に関する共同研究に取り組んでおり、毎年シンポジウムを開催しています。平成 24 年度も引き続き早稲田大学と第 4 回「次世代環境医療シンポジウム」を有山登記念館講堂で開催し、「安心と癒しとエコロジーに配慮した最新の病院」をメインテーマに最近の ICT 化病院とその理想像についてパネルディスカッションが行われました。



早稲田大学との
次世代環境医療シンポジウム

理化学研究所と包括的基本協定を締結

本法人と理化学研究所は、両機関の包括的な連携・協力関係を推進するため平成 24 年 4 月 26 日に理化学研究所東京連絡事務所にて「連携・協力の推進に関する基本協定」の締結をしました。両機関の研究開発能力と人材などを活用した連携・協力を推進し、世界をリードする科学技術の振興や人材の育成を目指します。また協定に基づく共同研究では、各種がんや免疫疾患、生活習慣病、難病等に対する高精度な疾患予測マーカーを共同開発し、早期診断と治療の実現を目指します。



理化学研究所との
包括的基本協定調印式

日立製作所と包括的な産学連携協定を締結

本法人と日立製作所は、研究開発分野において、両機関の連携・協力関係を推進するため平成 24 年 10 月 1 日に本法人内にて協定を締結しました。人材交流と互いの研究施設を活用した連携により、臨床現場のニーズに即した先端技術の開発とその早期実現化を推進し、グローバルでのライフ・イノベーションの創出を目指します。



日立製作所との
包括的産学連携協定調印式

佐倉市との連携協同に関する協定を締結

本法人と佐倉市は、教育・歴史等の学術・研究及びスポーツ・健康等の関連分野について連携・協同するため平成 24 年 10 月 23 日に佐倉市役所にて協定を締結しました。教育・文化・まちづくり等の分野で相互に協力し、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目指します。

女性スポーツリーダーシップカンファレンス 2012 の開催

文部科学省「チーム『ニッポン』マルチサポート事業（女性アスリートの戦略的サポート事業）」の一環として、平成 24 年 11 月 24 日に本郷キャンパスにて文部科学省共催、日本オリンピック委員会後援による女性スポーツリーダーシップカンファレンス 2012 を開催しました。諸外国の女性コーチに対する取組みを紹介しながら、日本における新たな取組みの可能性について検討し、女性コーチやサポートスタッフの増加と資質向上のメリットについて意見交換を行いました。

本郷キャンパスの図書館改修計画の実施

本郷キャンパスの図書館の 1 階及び 2 階を改修し、資料・情報を活用した個人学習、国家試験対策等の学習環境の整備を実施しました。1 階は雑誌や PC を中心とした「情報とのふれあいの場」とグループ学習の場、2 階は個人学習に集中できる空間の設置と学習効果の向上のためにリフレッシュできる空間を整備しました。

順天堂もとまち保育所の定員増

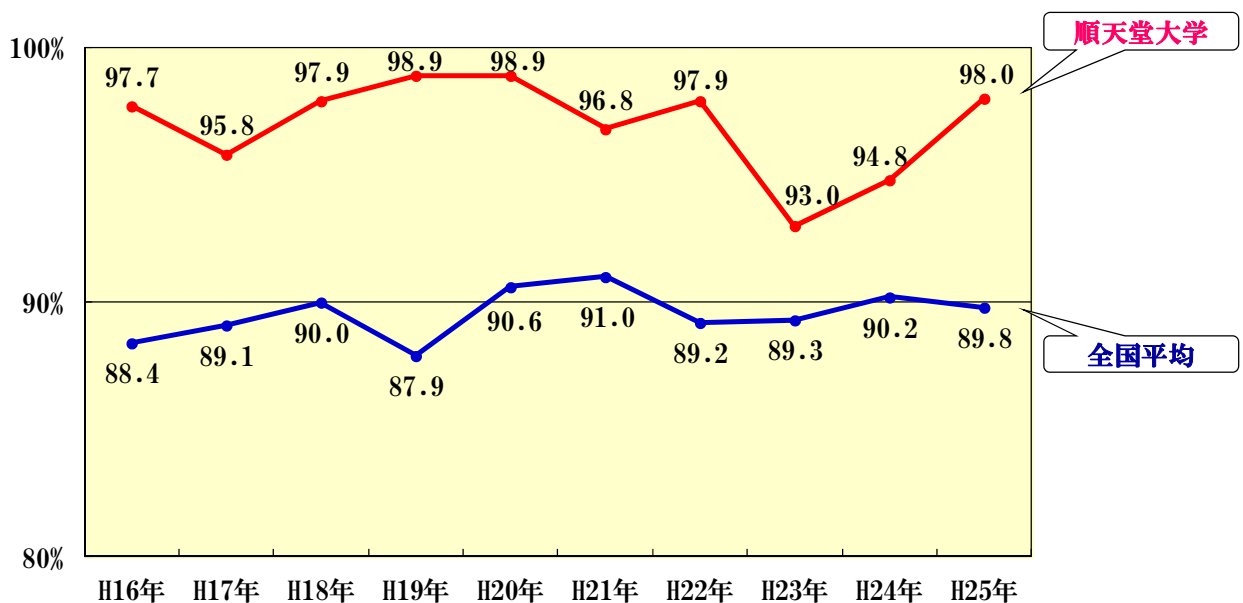
文京区民及び本法人教職員の強い要望に応じて、「順天堂もとまち保育所」の定員を 60 名から 73 名に増やし、順天堂病後児ルーム「みつばち」の定員 6 名を加えた総定員は 79 名となりました。

【本郷キャンパス（大学院医学研究科・医学部）】

医学部の入学定員増への対応

平成 24 年 10 月 15 日付文部科学省高等教育局長通知による「地域の医師確保等の観点からの医学部入学定員の増加について」を受け、本学では、優れた教育研究資源を活かし、学部・大学院教育を一貫した特別コースの設置等を条件とした入学定員の増員計画（研究医養成枠 3 名）を申請し、平成 24 年 12 月 17 日に文部科学省から認可されました。これにより、平成 25 年度の医学部入学定員が 121 名から 124 名に増員されました

医師国家試験合格率推移



過去 5 年間平均 → 第 3 位 / 80 校 (国公立大)

過去 10 年間平均 → 第 2 位 / 80 校 (")

大学院医学研究科修士課程設置

医学・医療の基本的な知識と研究能力を礎として、創造的で幅広い視野を持ち、生涯にわたって医科学と向き合う姿勢を持ち続け、「仁」の心を兼ね備えた「志高き医学・医療の研究者・高度専門職業人」を国際的レベルで人材育成するため、大学院医学研究科医科学専攻修士課程を設置認可申請し、平成 24 年 11 月 8 日文科科学省の設置認可を受けました。平成 25 年 4 月より開設します。

教育研究施設・設備の充実、文科科学省採択事業

- ・平成 24 年度文科科学省「科学研究費補助金」の採択件数・配分額は 4 年制私立大学 557 校中第 7 位となりました。今後も全学部が連携・協力して、教育・研究活動を推進し、科学研究費の申請・採択に努めていきます。
- ・文科科学省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」、「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成」、「医学部・大学病院の教育・研究活性化及び地域・へき地医療支援人材の確保」に新規採択されました。特に「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」においては、連携 7 大学（岩手医科大学・島根大学・鳥取大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学）と 5 年にわたる大型プロジェクトとしてスタートしました。
- ・平成 24 年度文科科学省「私立大学等研究設備整備費等補助金」の採択により、再生医療細胞調整装置（大学院医学研究科）、形態系実習室デジタル画像連携高解像度顕微鏡（医学部）、インビボイメージングシステム（大学院医学研究科）等、教育・研究装置の拡充を行いました。

国際交流の拡大・強化

- ・タイのタマサート大学（医療看護学部）及びバーレーンの湾岸諸国立大学（医学部）と国際交流協定を締結しました。これにより本学の国際協力協定校は合計 31 校となりました。
- ・平成 24 年度は、次の機関から表敬訪問[国名]を受けました。
 - （ 4 月）メーファラーン大学、マヒドン大学[タイ]
 - （ 5 月）医科大学使節団[タイ]、華中科学技術大学同済医学院[中国]
 - （ 6 月）西安第四軍医大学附属西京医院[中国]、タマサート大学[タイ]
 - （ 8 月）タマサート大学[タイ]
 - （ 9 月）チュラロンコン大学[タイ]
 - （10 月）大連大学附属中山医院[中国]
 - （11 月）アイルランガ大学[インドネシア]
 - （12 月）安徽省医病訪日団[中国]
 - （ 3 月）湾岸諸国立大学[バーレーン]
- ・国際交流校との学術的交流として、今年度もタイ及びシンガポールにて熱帯医学研究会の研修を行いました。
- ・平成 24 年 7 月にタイのマヒドン大学にて Joint Conference of Oncology、9 月に中国の北京大学にて消化管がんに関する第 3 回学術シンポジウム、11 月に第 3 回アジア太平洋メディカルフォーラムが開催され、国際交流センターで対応を行いました。
- ・海外からの短期研修として、基礎系・臨床系合わせて 78 名（昨年度 47 名）の留学生を受け入れました。また本学医学部生の海外選択実習として、イギリス・アメリカ・台湾・アイルランド・ドイツの 5 ヶ国に 6 年生 25 名を派遣しました。

【さくらキャンパス】

- ・文部科学省が進める「競技者・指導者等のスポーツキャリア形成事業」の一つである「スポーツキャリア大学院プログラム」に採択されました。将来のスポーツ界をけん引出来るリーダーを育成するための教育プログラムを提案することで、ナショナルレベルの競技者のセカンドキャリアを支援しています。
- ・文部科学省委託事業「大学スポーツ研究活動資源活用事業」に採択され、本学のノウハウを活かして先駆的なスポーツ科学研究を推進しました。また国立スポーツ科学センターやナショナルトレーニングセンターと連携し、研究成果をスポーツトレーニングの現場に還元することで本邦の国際的な競技力向上に貢献しています。
- ・文部科学省委託事業「チーム『ニッポン』マルチサポート事業」を幹事校である筑波大学と共同して研究を推進しました。ロンドン五輪代表選手のためのトレーニング装置を開発し、また女性アスリートを対象とした支援策やメダルを獲得するための社会的なサポートの枠組みを提案することでアスリートの戦略的強化に協力しました。
- ・就職状況について、教職では、現役学生 32 名、既卒者を含めると 108 名の合格者を輩出しました。また企業就職希望者については、最終的に 98.6%の学生が内定を獲得しました。

【浦安キャンパス】

- ・大学院医療看護学研究科の専門看護師養成コース（CNS コース）は、従来の 3 分野（感染看護・がん看護・慢性看護）に加え、小児看護、精神看護、高齢者看護が新規に認定され、全体で 6 分野となりました。
- ・国家試験結果は合格率が看護師 96.7%、保健師 99.5%、助産師 100%となり全国平均を大きく上回りました。
- ・タイ王国の国立タマサート大学看護学部と学部間協定を締結し、教育・研究の交流を推進しています。
- ・第 14 回医療看護学部国際交流講演会を平成 24 年 6 月 19 日に本郷キャンパスにて開催しました。「効果的な患者教育の戦略」をテーマにタイ王国・国立タマサート大学看護学部副学部長マンタナ・ダムロンサック博士の講演が行われました。
- ・平成 24 年度文部科学省「私立学校施設整備補助金」及び「私立大学等研究設備整備費等補助金」の採択により、マルチメディア教室バーチャルリアルティ・オンデマンド型看護教育システム、胎児監視教育システム、順天堂大学学生ポートフォリオシステムを整備し、ICT による教育の推進と学生サービスの向上を図っています。

【三島キャンパス】

- ・地域や行政との協働事業として、昨年度に引き続き、三島市の地球温暖化防止イベントへの参加、市内を流れる大場川の清掃美化などの活動を行っています。
- ・大学ネットワーク静岡の一員として、地域全体の高等教育機能向上のため、県内他大学との連携を深めています。
- ・テレビ会議設備・教室モニター設備増設等ネットワーク関連システムの充実を進めています。
- ・3 年生によるフィンランド・スウェーデンでの海外研修「北欧の医療・看護を訪ねて」を実施しました。（参加学生 30 名、教員 3 名）

【順天堂医院】

- ・東京都認知症疾患医療センター（区中央部：千代田区・中央区・港区・文京区・台東区）として指定を受け、病院組織内にも「認知症疾患医療センター」を設置しました。
- ・キャンパス・ホスピタル再編計画のB棟・I期完成（平成25年末完成予定）に向け、「B棟移転委員会」が発足し、移転計画の課題解決に向けた「タスクフォースチーム」も設置され移転に関する本格的な検討がスタートしました。
- ・平成24年10月より遺伝カウンセラーと臨床遺伝専門医による専門外来として「遺伝相談外来」を再開しました。
- ・厚生労働省より「特定看護師特定行為・業務施行事業」の実施施設として認定され、平成25年3月より医師による指導管理の下、認定看護師による業務を開始しました。

【静岡病院】

- ・厚生労働省「医療施設災害対策緊急整備費補助金」において、非常用発電機9号機の設置工事が完了し、契約電力の87%を確保することが出来るようになりました。
- ・静岡県「3次医療圏再生推進事業費補助金」に採択され、MRI(3.0テスラ)を整備し的確な治療指針が得られるよう設備充実を図りました。
- ・平成22年度に採択された静岡県「医療施設耐震化臨時特例事業費補助金」において、D棟・E棟耐震補強工事が完了し、静岡病院敷地内における建物は全て耐震化がなされました。
- ・平成24年5月、新生児センター5床増床工事の完成に伴い、NICU12床、GCU18床の運用を開始し、新生児センターの充実を図りました。
- ・平成24年10月より救急診療科の医師増員による体制強化を行い、3次救急医療機関としての充実を図りました。
- ・伊豆の国市との間において、静岡県東部地域における医療の充実及び静岡病院機能の充実を図ることを目的として土地譲与契約を締結しました。

【浦安病院】

- ・平成24年4月1日より「脳神経・脳卒中センター」を開設し、脳神経内科と脳神経外科が互いに連携強化を図り、より高度な医療を提供できる体制を構築しました。
- ・平成24年8月1日より「こども救急センター」を開設し、救命救急センターの充実を図るとともに、地域の不安を抱える小児救急患者及び保護者等のために安心と高度な医療を提供する体制を構築しました。
- ・「千葉県地域医療再生基金救命救急センター等整備事業補助金」に採択され、平成25年3月31日に「Dual Source CT装置」を導入し、診療設備の充実を図りました。

【順天堂越谷病院】

- ・抗精神病特定薬剤治療指導管理料が受理されました。
（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料：クロザリルの使用）
- ・アルコール依存症治療に係る研修を修了した医師による入院医療管理加算が認可されました。
- ・精神保健指定医（専門医）による「認知療法・認知行動療法」を開始しました。
- ・埼玉県知事名による「全面禁煙実施施設」として認定されました。

【順天堂東京江東高齢者医療センター】

- ・平成 24 年 4 月 1 日より「東京都認知症疾患医療センター」を開設し、認知症に関する鑑別診断、身体合併症周辺症状への対応、専門医療相談を実施するとともに地域の保健医療・介護関係者等との連携強化を図りました。
- ・平成 25 年 1 月 8 日より 16 列 CT 装置から 64 列マルチスライス CT 装置に更新し、検査を開始しました。撮影時間が短くなり、患者の身体的負担が軽減されるとともに、以前より鮮明な立体画像が得られるようになりました。

【順天堂練馬病院】

- ・平成 24 年 9 月 1 日に循環器内科における重症患者に対応するための人員体制構築が可能となったため、「東京都 CCU ネットワーク（急性心筋梗塞を中心とした心疾患患者を迅速に専門医療施設へ搬送することなどを目的として、東京都が東京都医師会等とともに、昭和 54 年に発足させた機構）」に加盟しました。
- ・平成 24 年 12 月 21 日に病室の床頭台（テレビ、冷蔵庫、セーフティボックス）の全面入れ替えを実施しました。特に 4 床室 A には間仕切りタイプの床頭台を設置し、患者間プライバシーの向上を実現出来ました。また同時に、オーバーベッドテーブルにストッパー機能を追加しました。
- ・電子カルテシステムの全面リプレースを実施し、処理速度が格段に向上しました。
- ・平成 25 年 3 月 29 日に脳死判定下の患者から移植のための臓器摘出を実施しました。臓器提供者が少なかったため、心臓、肝臓をはじめほぼ全ての臓器が摘出、移植されました。
- ・平成 25 年 3 月 31 日より、院内駐輪場の不正使用防止のため、駐輪場にゲートを設置しました。また駐輪可能台数の不足を補うため、隣接する西武池袋線高架下に駐輪場を増設しました。

19. 平成 24 年度事業の収支及び財務状況の概要

当期の事業収支及び財務状況について、その概況を報告します。なお、金額は百万円未満を端数処理(四捨五入)して表記していますので、合計と一致しないことがあります。

(1) 資金収支計算

(収入の部)

(単位：百万円)

科 目	補正後予算	決 算	差 異
学生納付金収入	6,744	6,754	△ 10
手数料収入	395	457	△ 62
寄付金収入	1,515	1,980	△ 465
補助金収入	6,645	7,368	△ 723
資産運用収入	821	950	△129
資産売却収入	27	29	2
事業収入	1,988	2,294	△ 306
医療収入	119,372	120,342	△ 970
雑収入	1,056	1,416	△ 360
借入金等収入	1,000	230	770
前受金収入	1,559	1,592	△ 33
その他の収入	20,208	20,624	△ 416
資金調整勘定	△ 21,716	△ 22,308	592
当年度資金収入合計	139,614	141,728	△ 2,114
前年度繰越支払資金	35,364	35,364	
収入の部合計	174,978	177,092	△ 2,114

資金収入は、補正後予算（以下予算という）と比較し、約 21 億円上回りました。主な要因としては、附属病院の医療収入全体で予算を約 10 億円上回ったこと補助金収入が約 7 億円上回ったことによります。

(支出の部)

(単位：百万円)

科 目	補正後予算	決 算	差 異
人件費支出	49,654	49,077	577
教育研究経費支出	18,432	17,674	758
医療経費支出	43,161	44,045	△ 884
管理経費支出	4,534	4,022	512
借入金等利息支出	38	31	7
借入金等返済支出	346	346	0
施設関係支出	11,314	10,065	1,249
設備関係支出	5,227	3,959	1,268
資産運用支出	12,400	16,734	△ 4,334
その他の支出	8,304	8,413	△ 109
予備費	1,835	0	1,835
資金支出調整勘定	△ 8,317	△ 9,810	1,493
当年度資金支出合計	146,927	144,554	2,373
次年度繰越支払資金	28,051	32,538	△ 4,487
支出の部合計	174,978	177,092	△ 2,114

資金支出は、予算と比較し約 23 億円下回りました。主な要因としては、施設・設備投資の一部を翌年度に繰り越したことによります。また資産運用支出は予算を上回っていますが、期末に現預金の一部を主に短期の有価証券等に振替えたことによります。

当年度資金収支差額は、差引約 △28 億円となり、次年度繰越支払資金は約 325 億円となりました。

当年度資金収支差額	△7,313	△2,826	△ 4,487
-----------	--------	--------	---------

(2) 消費収支計算

(収入の部)

(単位：百万円)

科 目	H24 年度決算	H23 年度決算	差 異
学生納付金	6,754	6,669	85
手数料	457	425	32
寄付金	2,513	2,115	398
補助金	7,368	6,581	787
資産運用収入	950	572	378
事業収入	2,294	2,330	△ 36
医療収入	120,342	117,129	3,213
雑収入	1,482	1,582	△ 100
その他	0	3	△ 3
帰属収入合計	142,160	137,406	4,754
基本金組入額合計	△ 11,811	△ 9,818	△1,993
消費収入の部合計	130,349	127,588	2,761

帰属収入は、約 1,422 億円となり前年度と比較し約 48 億円増加しました。補助金の増加は主に経常費補助金、耐震補強及び病院設備に対する補助金の増加によるものです。医療収入は附属病院の診療体制を充実させたこと等により約 32 億円増加しました。

(支出の部)

(単位：百万円)

科 目	H24 年度決算	H23 年度決算	差 異
人 件 費	49,897	48,669	1,228
(退職給与引当金繰入額)	(2,591)	(2,123)	468
教育研究経費	24,199	23,538	661
(減価償却額)	(6,554)	(6,399)	155
医療経費	43,728	42,305	1,423
管理経費	4,386	4,178	208
(減価償却額)	(369)	(293)	76
借入金等利息	31	32	△ 1
資産処分差額	98	141	△43
徴収不能額等	66	129	△63
消費支出の部	122,406	118,992	3,414

消費支出は、約 1,225 億円となり、前年度と比較し約 35 億円増加しました。これは教育・研究・診療体制の更なる充実を図ったため、人件費、教育研究経費、医療経費等が増加したことなどによるものです。

帰属収支差額	19,754	18,414	1,340
当年度消費収入超過額	7,943	8,596	△653
前年度繰越消費支出超過額	54,791	63,388	
翌年度繰越消費支出超過額	46,848	54,791	

帰属収支差額は、約 198 億円となりましたが、再編事業が本格化したことから基本金組入額が増加し消費収支差額は前年度と比較し約 6 億円のマイナスとなりました。

(3) 貸借対照表

(資産の部)

(単位：百万円)

科 目	H24 年度末	H23 年度末	増 減
固 定 資 産	141,800	135,501	6,299
有 形 固 定 資 産	118,777	111,306	7,471
土 地	41,307	37,685	3,622
建 物	49,773	49,839	△ 66
その他の有形固定資産	27,697	23,782	3,915
その他の固定資産	23,023	24,195	△1,172
流 動 資 産	83,917	68,121	15,796
現 金 預 金	32,538	35,364	△2,826
その他の流動資産	51,379	32,757	18,622
資 産 の 部 合 計	225,718	203,623	22,095

固定資産は、キャンパス及び病院附属施設を拡充するため、不動産を取得したことにより増加しました。

流動資産のうち現預金は固定資産の取得及び短期有価証券への振替により減少しております。総資産は 221 億円増加して、2,257 億円となりました。

(負債の部)

(単位：百万円)

科 目	H24 年度末	H23 年度末	増 減
固 定 負 債	27,941	27,242	699
長 期 借 入 金	927	1,217	△ 290
学 校 債	5,300	5,075	225
その他の固定負債	21,714	20,950	764
流 動 負 債	13,263	11,621	1,642
短 期 借 入 金	291	226	65
短期学校債	5	120	△ 115
その他の流動負債	12,967	11,275	1,692
負 債 の 部 合 計	41,204	38,863	2,341

負債は、412 億円と前年度対比で約 23 億円の増加となりました。

主な要因は、施設設備投資に伴う期末未払金の増加などです。

(基本金の部)

(単位：百万円)

科 目	H24 年度末	H23 年度末	増 減
第 1 号 基 本 金	219,936	208,492	11,444
第 2 号 基 本 金	1,768	1,660	108
第 3 号 基 本 金	500	500	0
第 4 号 基 本 金	9,158	8,899	259
基 本 金 の 部 合 計	231,362	219,551	11,811

(消費収支差額の部)

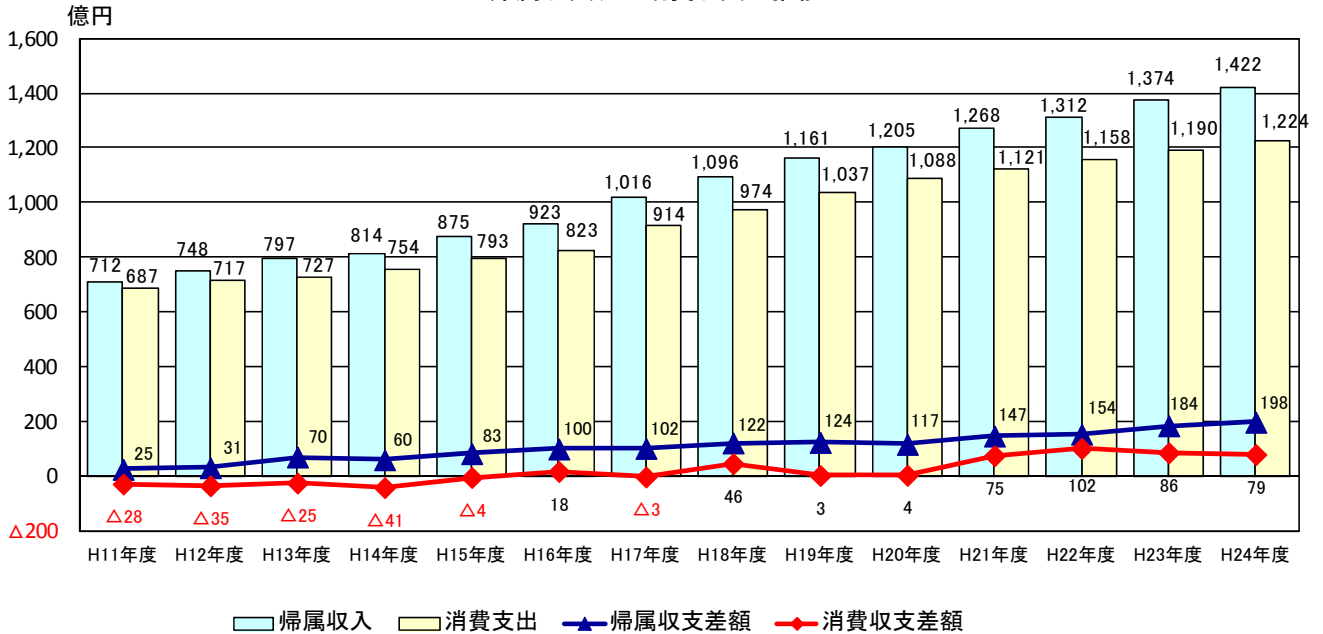
(単位：百万円)

科 目	H24 年度末	H23 年度末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	46,848	54,791	△ 7,943
消費収支差額の部合計	△ 46,848	△ 54,791	7,943
負債の部合計、基本金の部及び消費収支差額の部合計	225,718	203,623	22,095

消費収入超過額は、約 79 億円であったため、翌年度繰越消費支出超過額は約 468 億円となりました。

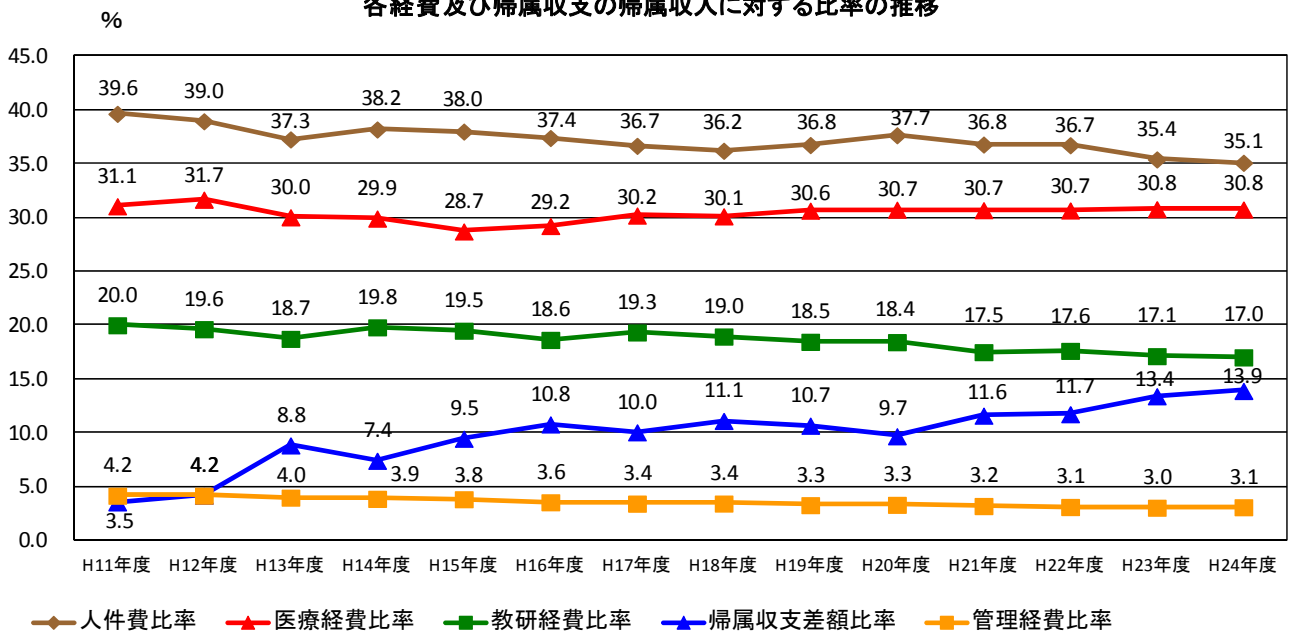
20. 財務状況の推移

帰属収支及び消費収支の推移



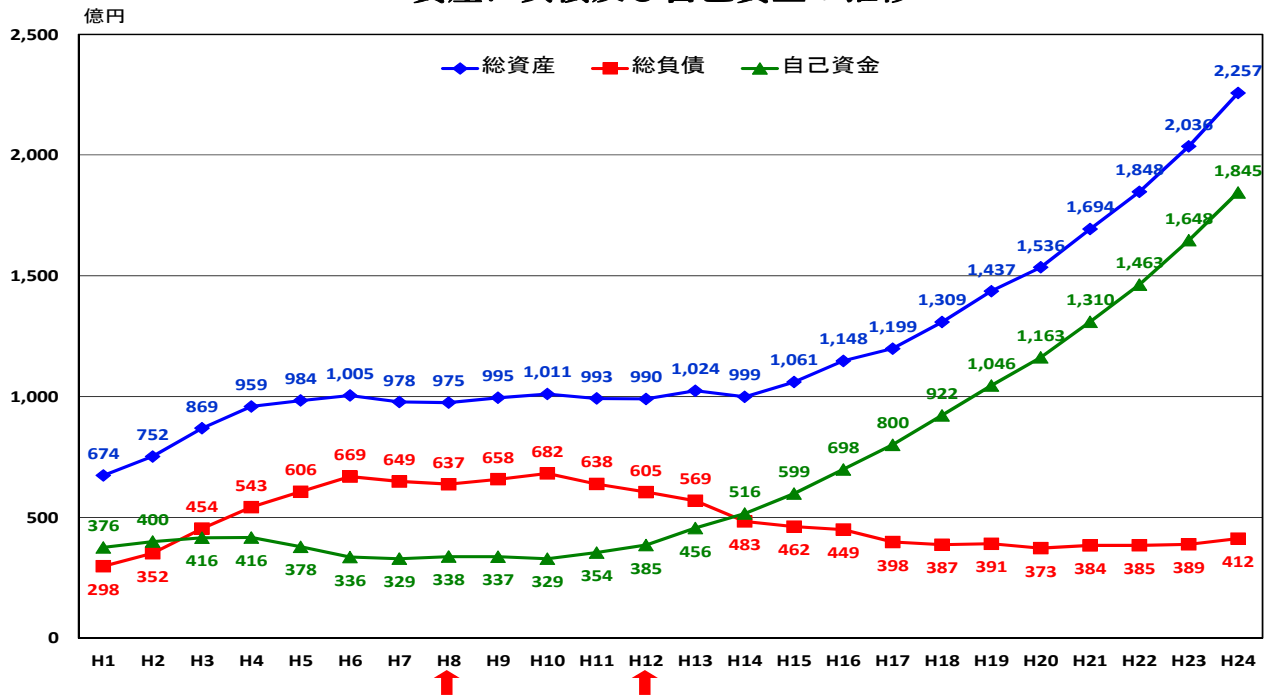
教育・研究・診療の充実を図るため、平成14年度 順天堂東京江東高齢者医療センター開院（平成16年度より自主運営開始）、平成17年度 練馬病院開院（平成18年度よりフル稼働）、平成18年度 静岡病院増床、スポーツ健康医科学研究所竣工、平成19年度はスポーツロジーセンター設立、浦安病院救急救命センター設置及び練馬病院3号館建設、平成22年度は静岡県三島市に保健看護学部を開設いたしました。収入・支出の規模が毎年拡大しておりますが、帰属収支差額は各種プロジェクトの推進及び外部資金の導入等の効果により収支バランスを崩すことなく推移しております。

各経費及び帰属収支の帰属収入に対する比率の推移



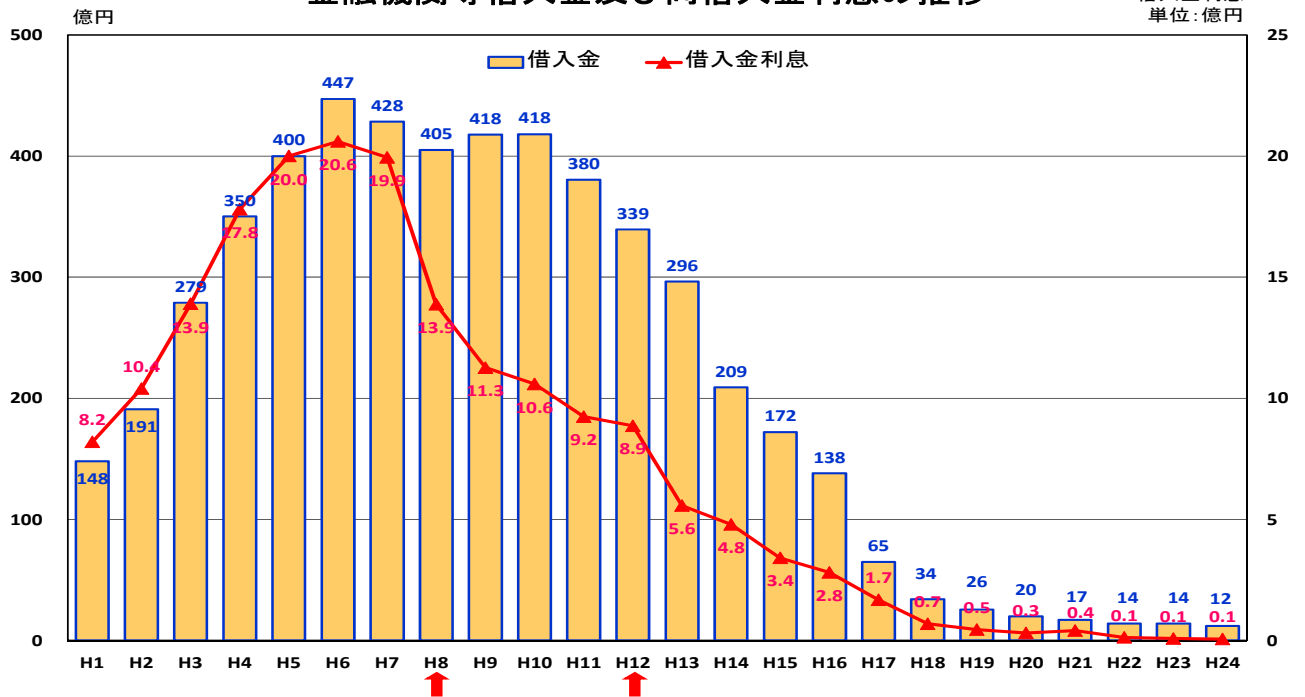
教育・研究・診療の充実に伴い、各経費及び人件費は毎年増加していますが、経費の効率化、外部資金の導入などの効果により収入の増加見合いに収めることができたため、各経費比率（経費の効率化の尺度を表し、各経費/帰属収入により算出する。）とも安定して推移しています。

資産、負債及び自己資金の推移



上記のグラフは資産、負債、自己資金の推移を示しております。平成5年に竣工した順天堂医院本館建設資金の大半を借入金で賄ったため、平成13年度まで負債が自己資金を上回っていました。ここ数年は堅調な帰属収支差額を維持し、施設・設備の拡充は自己資金により行ってきました。また有利子負債の返済を前倒しで行ってきたため、総負債比率（総負債／総資産）は平成11年度の64.3%から平成24年度には18.3%と、大幅に改善しています。

金融機関等借入金及び同借入金利息の推移



総負債比率改善のため有利子負債の返済を積極的に進めてきました。平成24年度末の金融機関等からの借入残高は約12億円、学校債を合わせた借入総額は約65億円となりました。現預金残高は借入金総額を大幅に上回り、健全な経営を維持しております。

21. 創立 175 周年記念事業について

順天堂創立 175 周年記念事業については、本郷キャンパスにおける大規模な再編事業に加え、他地区においても各々事業への取り組みが行われています。

平成 24 年度の事業の進捗概要は以下のとおりです。

(1) 本郷キャンパス

① (仮称) B 棟新築工事

地上 21 階、地下 3 階の新病棟の建設工事です。

I 期工事は平成 25 年 12 月に完成の予定で、現在工事は順調に進行中です。

引き続き II 期工事を行い平成 28 年 3 月に竣工する予定です。



B 棟完成予想図

② (仮称) D 棟新築工事

現 4 号館の隣地に建設（増築）する地上 9 階、地下 1 階の建物です。

3 号館を建替え新築するための原形質流動に必要な建物となります。

平成 24 年度は、建物の設計、建設地の解体・整備、施工会社の選定等を行いました。



D 棟完成予想図

③ (仮称) C 棟新築工事

3 号館を建替え、新築する工事です。

現在、実施設計を進めています。



C 棟完成予想図

④ 上空通路建設工事

B 棟と 1 号館、C 棟を接続する上空専用通路を新設します。

実施設計、監督行政の認可取得、施工会社の選定を行いました。



上空通路完成予想図

⑤ センチュリタワー改修工事

昨年度は、低層階を教学部門用途にするための改修する工事を行いました。引き続き高層階に法人本部を移すための改修工事の検討を進めています。



ラウンジイメージ図

⑥ 湯島寮新築工事

昭和 47 年に建てられた看護師寮の建て替えを行います。実施設計を終え施工会社の選定作業を進めています。

⑦ 土地・建物不動産取得

キャンパスに近接する複数のビルをサテライトとして購入し活用を図りました。



湯島寮完成予想図

(2) 浦安病院

① 3 号館増築工事

132 床の増床の許可を得て、免震構造の地上 9 階、地下 2 階の新病棟（3 号館）を建築します。

現在、設計を終え、施工会社の選定を進めています。



3 号館完成予想図

② 土地・建物不動産取得

病院に近接する 2 ヶ所の駐車場土地、3 か所の土地・建物の取得を行いました。

(3) 静岡病院

将来の病院の建て替え、増築に備え、病院に隣接する土地約 1,700 坪を取得しました。

(4) さくらキャンパス

キャンパスと地続きの農地約 3,000 坪を取得し農地転用の手続きを進めています。



Juntendo , Tokyo , established in 1838 .